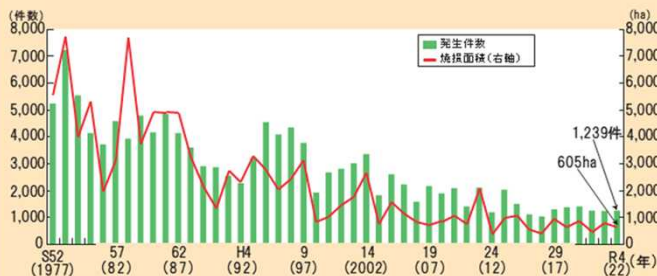


日本における林野火災の特徴と 予防のための注意点

資料I - 27 林野火災の発生件数及び焼損面積の推移



資料：消防庁プレスリリース「令和4年(1～12月)における火災の状況(確定値)」(令和5(2023)年11月29日付け)に基づいて林野庁研究指導課作成。
(令和5年度 森林・林業白書)

日本での林野火災は、
発生件数、焼損面積ともに、
減少傾向にある。

日本において2002年以降に発生した
焼損面積150ha以上の林野火災は、
20件(平均で1年に1件弱の頻度)

消防白書より作成

発生日	発生場所	焼損面積 (ha)
2002年3月17日	宮城県丸森町	161
2002年3月21日	長野県松本市	176
2002年4月5日	岐阜県岐阜市	250
2004年2月14日	広島県瀬戸田町	389
2006年1月29日	熊本県山都町	173
2008年4月4日	岩手県釜石市	160
2011年3月11日	岩手県山田町	166
2011年3月11日	岩手県大槌町	534
2011年3月11日	宮城県気仙沼市	222
2011年8月9日	香川県直島町	226
2012年11月16日	東京都三宅村	156
2013年2月24日	福岡県北九州市小倉南区	158
2013年4月28日	長野県諏訪市	220
2014年4月15日	群馬県桐生市	263
2015年2月13日	山口県美祢市	151
2017年5月8日	岩手県釜石市	413
2018年2月20日	熊本県山都町	180
2019年5月22日	北海道雄武町	215
2021年2月21日	栃木県足利市	167
2023年5月4日	長野県諏訪市	166

日本における森林火災の焼損面積 別発生件数(1992-1996年の平均)

焼損面積 の範囲 (ha)	火災件数	焼損面積	焼損面積
		%	%
0-0.01	472	12.8	0
0.01-0.04	1455	39.5	32
0.05-0.09	487	13.2	33
0.10-0.49	860	23.4	182
0.50-0.99	165	4.5	111
1.00-1.99	100	2.7	130
2.00-2.99	44	1.2	104
3.00-4.99	37	1.0	142
5.00-9.99	30	0.8	216
10.00-	29	0.8	1610

玉井
(2009)

しかしながら、林野火災による
被害の**多くは、希に発生する**
大規模な火災によって発生する。

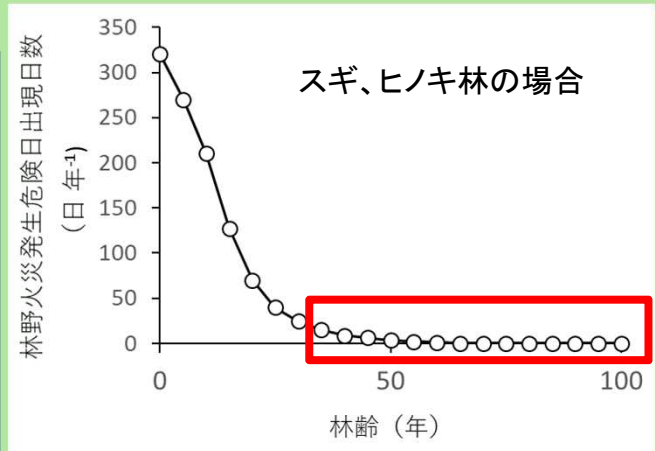
例えば、10ha以上が焼損した大規模な
林野火災の発生件数はわずか**0.8%**
だが、焼損面積では**60%以上**

日本における林野火災の特徴と 予防のための注意点

林野火災が発生しやすい時には、
火の取り扱いに注意しましょう。

林齢が40年以上の森林では、
林床の落ち葉や枯れ枝が可燃となる
まで乾燥するのは、1年間で20日以下と、
限られます(□部分)。

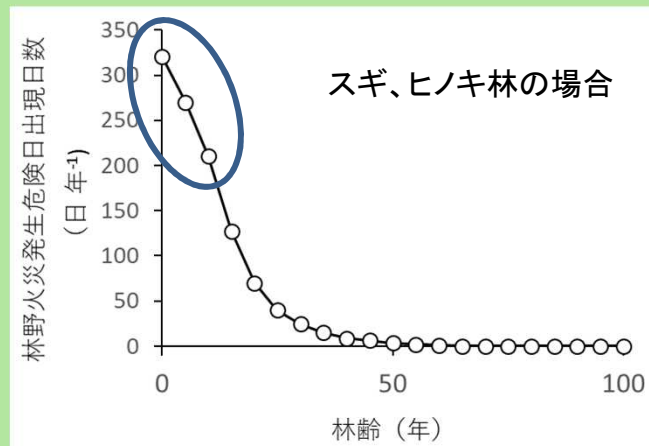
長く雨の降っていない日、風の強い日
には、特に注意しましょう。



林野火災が発生しやすい場所では、
火の取り扱いに注意しましょう。

若い森林ほど、林床にまで達する太陽
エネルギー量が多いので、林床の落
ち葉や枯れ枝が可燃となるまで乾燥
する日数が多くなり、**1年間で200日以上**
になることもあります。(○部分)。

森林の周りや、林内が明るい森林で
は、**1年を通じて**注意しましょう



林野火災が発生した場合には、
早く消すために、**早く通報しましょう。**

地表火にとどまると、焼損範囲は狭く
てすみます。

樹冠に燃え移って樹冠火まで拡大す
ると、焼損範囲が広がります。

樹冠に燃え移る前に鎮火できるように、
早く通報しましょう。

焼損面積 (a)	地表火	樹幹火	樹冠火
-10	58	1	1
10-50	29	1	4
50-100	5	0	8
100-500	3	1	13
500-1000	1	0	0
1000-	0	1	9
Total	96	4	35